

表 「オーガニック農業行動計画」の主な内容

	目 標	具体的な取り組み(例)
(1) オーガニック製品の消費および消費者の信頼を拡大	(1) オーガニック農業およびEU共通の製品ロゴの認知度を高める	・オーガニック農業の環境への利点などのデータを収集し、ソーシャルメディアなどを活用して消費者に周知 ・ロゴの認知度を調査 ・域内外で行うEU産農産物・食品プロモーション事業におけるオーガニック製品への予算配分を増加
	(2) グリーン公共調達を通じ、学校や公共機関の食堂などでのオーガニック製品の利用を拡大する	・持続可能な食品の公共調達における必須条件にオーガニック製品を盛り込む
	(3) 学校で乳製品や青果類の消費促進のためのEU事業において、オーガニック製品の利用を増やす	・加盟国がオーガニック製品の割合を増やす方法を特定する取り組みを支援
	(4) 食品偽装対策を強化し、オーガニック製品への消費者の信頼を高める	・EU食品偽装対策ネットワーク(EU Food Fraud Network)や欧州刑事警察機構(Europol)との協力を推進
	(5) 食品トレーサビリティへの取り組みを強化する	・域内外の事業者の認証に関するデータベースや「デジタル製品パスポート」を開発
	(6) 民間事業者の協力を促進する	・オーガニック製品の宣伝に積極的な事業者と協力し、ベストプラクティスを普及
(2) オーガニック農業への転換を推進し、バリューチェーン全体を強化	(1) オーガニック農業への転換、投資やベストプラクティスの共有を推進	・加盟国のニーズを把握し、加盟国が次期共通農業政策(CAP)において可能なオーガニック部門への支援を最大限行えるようにする
	(2) 市場の透明性向上のため、データ収集・分析を強化	・オーガニック農業に関する報告書を定期的に刊行 ・加盟国と協力し、市場データ収集を強化し、オーガニック製品についても、既存の市場データサイト(EU Market Observatories)における分析の対象とする
	(3) 生産者団体への支援	・生産者団体と協議のうえ、サプライチェーンにおける生産者団体や中小規模の農家の地位について分析
	(4) 産地での小規模な製品加工や、産直販売の支援	・加盟国や関係者とともに、地産地消や小規模な加工事業を推進
	(5) オーガニックの規範に従った、家畜飼料の改善	・「ホライズン・ヨーロッパ」の下での飼料(昆虫や藻類などを含む)に関する研究開発を支援
	(6) オーガニック養殖業の拡大	・養殖業の飼料、アニマルウェルフェアに配慮した繁殖方法などに関する研究開発を支援
(3) 持続可能性のさらなる追求	(1) 気候・環境への負荷の削減	・ベストプラクティスの共有のため、気候変動対応に取り組むオーガニック製品生産事業者の試験的ネットワークを創設
	(2) 生物多様性を強化しながら、収穫を増やす	・「ホライズン・ヨーロッパ」の下で、種の保存や繁殖活動などへの支援のため、資金を提供
	(3) 化学農薬に代わる製品の開発	・「ホライズン・ヨーロッパ」により、研究開発へ資金を提供
	(4) アニマルウェルフェアの向上	・加盟国や市民社会と協力し、アニマルウェルフェア向上のための、具体的で運用可能な方法を模索
	(5) 資源のさらなる有効活用	・水資源のより効率的で持続可能な利用の推進や再生可能エネルギーの利用のさらなる普及など、農業における循環型経済を推進

(出所) 欧州委員会「オーガニック農業行動計画」を基にジェトロ作成